

国際ロマ・デー

2019/04/08

国連人権高等弁務官事務所

国際ロマ・デーに際し、マイノリティの問題に関する特別報告者が声明を発表した。内容は以下のとおり。欧州最大のマイノリティであるロマの人々は、豊かな歴史を有し、社会に大きく貢献してきたが、彼らの芸術的・文化的伝統は多くの場合無視され、注目されていない。彼らが社会の完全な一員となり、権利が十分に尊重されるための行動が必要である。欧州のロマの人々に対する脅迫・攻撃・暴力、近年のソーシャルメディアなどによる事件の顕著な増加は憂慮すべきことである。世界中で生じているロマに対する憎悪・排除・スケープゴート・暴力には多くの要因があるが、その一つとして、経済・政治環境の変化、社会・経済的不平等の悪化、ポピュリズムの台頭に伴う構造的・制度的差別が挙げられる。ロマのようなマイノリティが社会の重要で生産力のある一員であるために、政府は彼らに対し平等な機会と尊重を確保する特別な責任を負っている。